

令和4年度

南北線シエルター保守点検業務特注作業

単価契約仕様書

南北線シェルター保守点検業務特注作業

委託仕様書

令和4年度

札幌市交通局

(高) 施 設 課

1 概要

本仕様書は、南北線シェルター保守点検業務における業務委託範囲外の保守作業（特注作業）について、窓ガラス及び建具等の緊急補修作業の時間単価等を取り決めるものである。業務の実施にあたっては、本仕様書によるほか、業務委託仕様書の各規定に従うこと。

2 補修委託期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日までとする。

3 補修対象施設

- (1) シェルターの構内及び外部における窓ガラス、建具等設置範囲全域、外板、ブレース等
- (2) 高架駅舎の外部における窓ガラス、建具

4 復旧委託（特注作業）の作業時間

原則24時間対応とするが、夜間作業かつ地下鉄線路内作業（線路閉鎖作業）は営業終了後の時間帯（電車線停電時～5：00まで）とする。

5 業務内容

(1) 窓ガラス補修

ア 委託者の指示に従い、破損した既存窓ガラスを撤去し、新規網入磨板ガラス厚6.8mm又はポリカーボネート板厚6mmを設置する。

寸法測定について事前に測定が難しい場合は、現場加工を行う。

現場でガラスを加工した場合、加工面は適正な表面処理を行う。

イ ガラス留め材は、ガラス板の特性に合ったものを用いる。

網入磨板ガラス ランマ、腰部FIX ガラス 外部～ガasket材、シーリング材
内部～シーリング材（シリコン系）
障子用ガラス 内部～シーリング材（シリコン系）

(2) アルミ製障子枠及びアルミ製建具枠の補修

委託者の指示に従い、不具合、故障が生じた障子、建具枠の調整、補修を行う。

また、シェルター外板の補修も行う。

(3) ブレースの補修

委託者の指示に従い、破断したブレースの補修を行う。

6 委託者及び復旧要員の資格

(1) 復旧要員は鉄道施設の内容に精通した者を配置すること。

(2) 保守要員は直接雇用契約関係にある者でなければならない。また、出向社員及び契約社員の場合は、出向社員にあつては出向契約書の写し、契約社員にあつては雇用契約書の写しを提出し、委託者の承諾を得ること。この場合、契約期間が当該委託期間の終了前にある場合は認めない。さらに、出向社員及び契約社員は業務責任者としては認めず、両者の人数は当該保守要員の概ね半数までとする。ただし、高齢者雇用案手法による雇

用等により、従前から継続して雇用される出向社員及び契約社員は出向契約書及び雇用契約書の期限を問わないものとする。なお、特殊作業に於いては、委託者の承認を得た場合その限りではない。

- (3) 受託者は保守要員の技術の向上と対象施設の把握のための社内・社外教育に努めること。
- (4) 受託者は、保守要員に対し社員であることの名札・腕章等の着用を義務付け、作業に適した服装を整えること。

7 保守用資材（仮設材）の管理及び消耗品

- (1) 受託者は本業務に必要な資材（仮設材）、工具は常に整えること。
- (2) 本業務に必要な仮設資材・消耗品類は全て受託者負担とする。
- (3) 委託者財産の整理
 - ア 対象施設に配置している財産の使用は、委託者指定の書式により許可を得た後、使用すること。
 - イ 委託者財産の破損等の場合は、直ちに報告し受託者の負担で修理復旧すること。

8 作業の発注

委託者の所定の依頼書により、作業（特注作業）を発注する。

9 提出書類

- (1) 実施報告書・・・・・・ 1部
- (2) 業務写真・・・・・・ 1部

10 支払いについて

受託者は指定した業務完了後に実施報告書等の書類を提出し、委託者が行う完了検査に合格した後に支払い手続きを行うものとする。

11 その他

本仕様書に明記されていない事項については委託者の指示によること。

技術担当部長	工事担当課長	建築係長	係

実施報告書

令和 年 月 日

札幌市交通事業管理者
交通局長

契約人（住所）
（会社名）

⑩

（現場責任者）

⑩

下記のとおり、作業を実施しましたので報告します。

記

業 務 名 [南北線シェルター保守点検業務(特注業務No.)]
 業務履行期間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで
 施工場所(箇所) ~ ()

作 業 内 容

項目	単位	数量	備考

(その他)

業務履行確認欄

令和 年 月 日

上記のとおり、実施報告書の提出がありましたので履行の確認をしました。

交通局 高速電車部 施設課 建築係 職 氏名 印

工事担当課長	建築係長	係	この業務の完了検査に係る検査員に下記の者を命じ、 令和 年 月 日に検査を実施してよろしいか。 検査員（役職・氏名）

業 務 写 真 帳

業 務 名 _____

業 務 名 南北線シェルター保守点検業務(特注No.)

業務箇所 _____

受 託 者 _____

令和4年度 特注業務・予定数量(設計額)

特注-1

	業 務 名	予 定 数 量		単 価	計
	(夜間)				
1	保全技師Ⅲ	12	時間		
2	ガラス(FIX)	1	m ²		
3	ガラス(障子)	1	m ²		
4	ガラス工	12	時間		
5	普通作業員	12	時間		
6	サッシ工	6	時間		
7	ポリカーボネート(FIX)	6	m ²		
8	ポリカーボネート(障子)	6	m ²		
9	ブレース破断補修	4	ヶ所		
10	鉄骨工	12	時間		
				計	
	(昼間)				
1	保全技師Ⅲ	4	時間		
2	ガラス(FIX)	1	m ²		
3	ガラス(障子)	1	m ²		
4	ガラス工	4	時間		
5	フックボルト	90	ヶ所		
6	普通作業員	4	時間		
7	サッシ工	4	時間		
8	ポリカーボネート(FIX)	1	m ²		
9	ポリカーボネート(障子)	1	m ²		
				計	
				合 計	
				(100円未満端数切捨て)	
				消 費 税	
				総 計	

特注業務・単価契約内訳書(労務単価)－夜間

特注-2

名 称	寸 法	単位	数 量	単 価	摘 要
1 保全技師Ⅲ	業務責任者、現場作業管理者 (深夜作業)	時間	1		直接物品費、業務管理費、 一般管理費等含む
2 ガラス(FIX)	材のみ	m ²	1		〃
3 ガラス(障子)	材のみ	m ²	1		〃
4 ガラス工	ガラス取替 ガラス留材取替等(深夜作業)	時間	1		〃
5 普通作業員	ガラス取替補助作業、現場内整理清掃等 (深夜作業)	時間	1		〃
6 サッシ工	障子解体組立作業、その他修理調整 (深夜作業)	時間	1		〃
7 ポリカーボネート(FIX)	材のみ	m ²	1		〃
8 ポリカーボネート(障子)	材のみ	m ²	1		〃
9 ブレース破断補修	材のみ	ヶ所	1		〃
10 鉄骨工	ブレース補修部材の取替	時間	1		〃

特注業務・単価契約内訳書(労務単価)－昼間

特注-3

名 称	寸 法	単 位	数 量	単 価	摘 要
1 保全技師Ⅲ	業務責任者、現場作業管理者 (昼間作業)	時間	1		直接物品費、業務管理費、 一般管理費等含む
2 ガラス(FIX)	材のみ	m ²	1		〃
3 ガラス(障子)	材のみ	m ²	1		〃
4 ガラス工	ガラス取替 ガラス留材取替等(昼間作業)	時間	1		〃
5 フックボルト	副資材含む (昼間作業)	ヶ所	1		〃
6 普通作業員	ガラス取替補助作業、現場内整理清掃等 (昼間作業)	時間	1		〃
7 サッシ工	障子解体組立作業、その他修理調整 (昼間作業)	時間	1		〃
8 ポリカーボネート(FIX)	材のみ	m ²	1		〃
9 ポリカーボネート(障子)	材のみ	m ²	1		〃

特注業務・単価契約内訳書(労務費算出表)－夜間

特注-4

直接人件費(1日)		労務単価	+ 直接物品費 %	+ 業務管理費 %	+ 一般管理費 %	委託単価(一日)
保全技師Ⅲ	夜間					=
ガラス工	夜間					=
普通作業員	夜間					=
サッシ工	夜間					=
鉄骨工	夜間					=

※直接物品費は仮設資材等に相当

直接人件費(1時間)		委託単価(1日)	深夜作業時間	委託単価(税別)	委託単価(税別)
保全技師Ⅲ	夜間	/	6時間	= 円/時間	=
ガラス工	夜間	/	6時間	= 円/時間	=
普通作業員	夜間	/	6時間	= 円/時間	=
サッシ工	夜間	/	6時間	= 円/時間	=
鉄骨工	夜間	/	6時間	= 円/時間	=

特注業務・単価契約内訳書(労務費算出表)－昼間

特注-5

直接人件費(1日)		労務単価 (昼間単価)	+ 直接物品費 %	+ 業務管理費 %	+ 一般管理費 %	委託単価(一日)
保全技師Ⅲ	昼間					=
ガラス工	昼間					=
普通作業員	昼間					=
サッシ工	昼間					=

※直接物品費は仮設資材等に相当

直接人件費(1時間)		委託単価(1日)	昼間作業時間	委託単価(税別)		委託単価(税別)
保全技師Ⅲ	昼間	/	8時間	=	円/時間	=
ガラス工	昼間	/	8時間	=	円/時間	=
普通作業員	昼間	/	8時間	=	円/時間	=
サッシ工	昼間	/	8時間	=	円/時間	=

基準単価

区分	時間帯	採用単価	根拠
保全技師Ⅲ	昼		
	夜		
ガラス工	昼		
	夜		
普通作業員	昼		
	夜		
サッシ工	昼		
	夜		
鉄骨工	夜		

来年度用単価割増

区分	時間帯	採用単価	=	来年度用基準単価	その他率	=	来年度用労務単価 (下請経費含む)
保全技師Ⅲ	昼		=	円	%	=	
	夜		=	円	%	=	
ガラス工	昼		=	円	%	=	
	夜		=	円	%	=	
普通作業員	昼		=	円	%	=	
	夜		=	円	%	=	
サッシ工	昼		=	円	%	=	
	夜		=	円	%	=	
鉄骨工	夜		=	円	%	=	

保全技師Ⅲ 来年度単価		
区分	単位	単価
昼間	円/日	
夜間	円/日	
割増基礎単価の割合	-	%

夜勤単価計算							
割増基準単価	=	×	%		=		
(+	×	0.25	×	6) ×	1.14 =

特注業務・単価契約内訳書(資材単価算出 1)－夜間・昼間

特注-7

名 称	資材単価 (円/m ² ・円/ヶ所)	直接物品費 %	業務管理費 %	一般管理費 %	委託単価(資材) (円/m ² ・円/ヶ所)
FIXガラス(副資材含む)					
障子ガラス(副資材含む)					
フックボルト(副資材含む)					
FIXポリカーボネート(副資材含む)					
障子ポリカーボネート(副資材含む)					
ブレース破断補修					

※ガラスは網入磨板ガラス厚6.8mmとする。

※ポリカーボネートは厚6.0mm(両面耐候)とする。

特注業務・単価契約内訳書(資材単価算出 2)-夜間・昼間

特注-8

細目	単位	単価	積算の基礎				単価番号		
			単位	数量	単価				
FIXガラス (副資材含む)	㎡		網入磨板ガラス	㎡	1.0 ×	=	円 材のみ(見積)	2	
			シーリング材(片面)	m	4.0 ×	=	円 材のみ(市単価)		
			先付ビート(片面)	m	2.0 ×	=	円 材のみ(見積)		
			その他	%	×	=	円		
			計				円		
障子ガラス (副資材含む)	㎡		網入磨板ガラス	㎡	1.0 ×	=	円 材のみ(見積)	3	
			シーリング材(両面)	m	8.0 ×	=	円 材のみ(市単価)		
			その他	%	×	=	円		
			計				円		
フックボルト (副資材含む)	ヶ所		ステンレスフックボルト	ヶ所	1 ×	=	円 材のみ(見積)	昼間 5	
			計				円		
FIXポリカーボネート (副資材含む)	㎡		ポリカーボネート	㎡	1.0 ×	=	円 材のみ(見積)	夜間 7 昼間 8	
			シーリング材(片面)	m	4.0 ×	=	円 材のみ(市単価)		
			先付ビート(片面)	m	2.0 ×	=	円 材のみ(見積)		
			その他	%	×	=	円		
			計				円		
障子ポリカーボネート (副資材含む)	㎡		ポリカーボネート	㎡	1.0 ×	=	円 材のみ(見積)	夜間 8 昼間 9	
			シーリング材(両面)	m	8.0 ×	=	円 材のみ(市単価)		
			その他	%	×	=	円		
			計				円		
ブレース破断補修	ヶ所		ブレース破断補修	ヶ所	1 ×	=	円 材のみ(見積)	夜間 9	
			計				円		
			シーリング材(5×5)						
			シリコン系シーリングSR-1	m				シーリング材1L当たりの施工メーター数	m
				1.0 ÷	×	=		円	
			副資材(バックアップ材等)	%	% ×	=		円	
						=		円	
							再計	円	